

ふれあい

大代地区コミュニティ推進協議会

事務局；大代地区公民館

☎ 364-8442

敬老の日

おめでとうございます



矢部 将吾



ぼくのおじいちゃんは毎日夜中の二時起きで、市場に魚を仕入れに行きます。だからおばあちゃんも一時に起きて、おじいちゃんの弁当を作っています。仕事に行つた後もう一度眠りますが、掃除などをしてそれから朝ご飯を食べています。

午後の二時におじいちゃんは市場から戻ってきます。そうしたらおばあちゃんはお昼ご飯を出して一緒に食べます。おばあちゃんは、おじいちゃんが帰るまでいつも待っているのです。朝早く仕事に行くおじいちゃん、またお昼ご飯を待っているおばあちゃんには、とても感心しています。

僕の大好きなおじいちゃん、おばあちゃんにこれからも長生きしてもらつてがんばつてほしいと思います。

祝儀

お見舞いは

三千円を限度にお返し物はしないようにお互の気を配りましよう

あいさつは心のふれあい

あいさつしましよう

あいさつしましよう

第八回スボーツ大会開催

身近な公園に親しみ、スポーツを通じて大代地区内の親睦と交流を深めるため、左記の通りスポーツ大会を開催いたします。

つきましては、大代地区のみなさん気軽に多数参加下さるよう案内申し上げます。

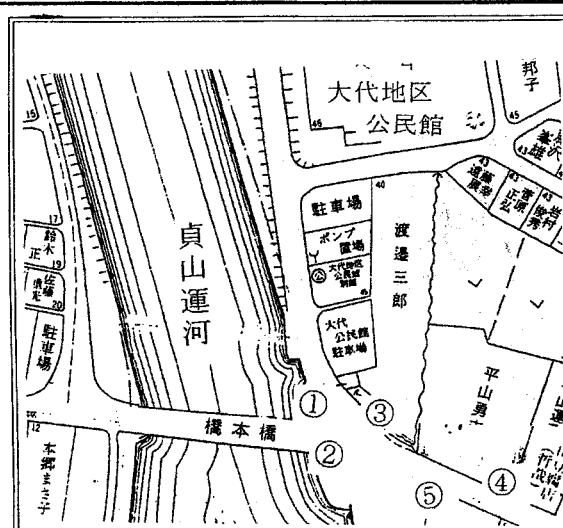
◆ 日 時 十月七日（日）午前九時
午前七時花火打ち上げ
※ 雨天時は中止

◆ 場 所 大代地区緩衝緑地公園
(下水処理場側)
◆ 大会日程
一、現地集合 午前九時
二、開会式 午前九時十分
三、表彰・閉会式 正午（予定）
四、芋煮会 閉会式終了後
五、現地解散 午後一時（予定）

- ①『速度制限30キロ』と『駐車禁止』
- ②『一時停止』と『駐車禁止』
- ③『駐車禁止』
- ④『速度制限30キロ』と『駐車禁止』
- ⑤『一時停止』と『駐車禁止』

道路標識が左記番号の通り変更されましたので、通過の際は充分注意し、違反のないようにしましょう。

あなたは二存じですか？



貞山運河周辺の清掃

◆ 実施日時 十月二十一日（日）午前六時より

未就学児～小学三年生
② ラケットベースボール（十二名）
小学四年生以上
③ グラウンドゴルフ（十五名）
年齢制限なし

◆ 実施日時 十月二十一日（日）午前六時より

④ 地区対抗綱引き
小学生 十五名
一般 十五名

大代地区子ども会育成連合会
会長 櫻井啓一郎

◆ 雨天の場合は中止（小雨決行）

集合場所 大代地区公民館前
大代地区的皆さんの御協力を
お願いします。

環境美化部

十数年前、この空港にも二度と降り立つことはないだろうと思つていたせいか、当時とあまり変わらずに見えた。

八月十日午前十一時新潟空港集合。同十二時、二階会議室での合同結団式。遅れないようとにとの厳しい連絡が入った。いろいろな曲折があつたが本当に行けるんだ、よしと気合いを入れる。

シベリアの広さ、過去の忌まわしい歴史を思うと恐ろしくて考えたくもない。それでも尚行つてみたい、見てみたいという想いはどうしても抑えることはできなかつた。

南方の地域から、中国大陸から、多くの人達（俘虜）は相続いで復員し我が家へと、戦後の荒れた日本へと戻つていった。生きて帰り、家族との再会の喜びが日本再興のエネルギーになつた者達もいる一方、ソ連に囚われた男達は消息を絶ち、いつまでも帰つてはこなかつた。

苛酷この上ない自然条件の中での相次ぐ死者。三年も五年も音沙汰なし。残念なのは、いまだ安否が解らない人達もいるとか。私達はこんな未帰還者の現状を納得させる説明に出合つたことがない。そんな想いを秘めて慰霊訪問へと出発した。

十四時、新潟からハバロフスクへと向けて離陸。機内は満席でさまざまな容貌の客が掛けている。二時間ちょっとの飛行時間。日本との時差は二時間。従つて十八時二十分頃にはハバロフスク着となるようだ。久しぶりで見る眼下の風景。いつ見ても広い大地、この地方には高い山などはない。小さな丘があるだけである。収穫の後なのか、変化する平坦な土地に一人の人影もない。やはり十八時過ぎの到着となつた。私達七人のグループも無事日の沈んだ大地に降り立つ。ここはまだまだ不思議と明るい。

広く大きな滑走路、派手な空港ビル、出たところでバスと現地のガイドが迎えてくれた。彼は大学生で、バイトで稼いでいるとか。

「僕の名前はアルベルト。忘れたらアルバイトと覚えてください。二十四才です」と自己紹介してくれた。お世辞にも上等な日本語とは言えない。だが憎めない感じの良い青年である。

夕食にはまだ早いので近郊の日本人墓地を案内するそうだ。バスは広いまつすぐな道路をぶつとばす。車の渋滞もない。舗装はあるが所々ひどい穴ぼこだらけ。しばらくして墓地らしい町はずれの林の中につく。白樺の大樹のもと合祀されたと思われる墓があつた。立派に整備された公園墓地である。

《全ソ連地区死没日本人平和祈願追悼之標》が立てられている。近くに花と線香を売つてゐる老婆がいた。花を捧げ持参のロウソクも手向け、「友よ安らかに眠れ」と深く頭を垂れた。茂つた木々を通して残光が差し込み明るいが物音一つしない。墓地はどこも淋しい。そして悲しい。ましてや異国の墓地である。お参りも済ませホタルへと引き返す。

外はまだ明るく、夕暮れという感じは全くない。ハバロフスクだつて夏だ、短い夏のあがきか、とにかく暑い。汗びつしより。しばらくして部屋に入る。腹も減つた。とにかく疲れた。期待できない食事より早く寝たい。冷蔵庫のビールで同僚と乾杯。まもなく今日も暮れるであろう。明日はハバロフスク郊外での各國合同の慰霊祭とか。次回に書いてみたいと思つています。

大代南区 後藤清一

大代東区 本郷新治

大代西区 松浦富男



衆議院議員補欠選挙は左記の通りです。

忘れず投票しましょ

◆ 告示日 十月十六日(火)

◆ 投票日 十月二十八日(日)

今回の選挙は前任者死去に伴うもので、私達の地域代表を国政に送り、地域発展と振興のため活動していただ

大切な人を選ぶものです。

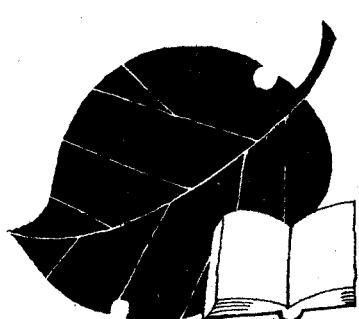
みなさんのきれいな一票を無駄にすることのないよう投票いたしましょう。

一票を重ねて築く新時代

※ なお二十八日に投票できない方は不在者投票をしてください。市役所で土曜・日曜休まず受付けています。

多賀城市明るい選挙推進員

渡辺正平



△ 俳句

☆ 草いきれ道なき山の帰り道
☆ 蟬鳴かぬ森ある郷の不思議かな
☆ 眼科医の白衣まぶしく秋立つり